

---

# 2022年5月期 決算説明会



<https://www.nakakita-s.co.jp>

2022年8月8日 大阪

---

I . 会社概要

II . 2022年5月期 実績

III . 2023年5月期 見通し

IV . 今後の展望

V . コーポレートデータ

---

# I . 会社概要

# 1. 会社概要・沿革

---



**NAKAKITA SEISAKUSHO CO.,LTD.**

**創業：1930年5月28日**

**正社員数：352名 (2022年5月末現在)**

**株式公開：スタンダード市場**

**事業所：大阪**(最寄駅 JR住道)

**東京営業所、北九州営業所**

**事業内容：バルブ及びバルブ遠隔操作装置の製造販売**

**売上高：171億円**(2022年5月期)



## 2. 事業内容

1930年創業以来、船舶・発電・製鉄・化学プラント等向けバルブを中心とした**流体制御システム**を提供

22/5期 売上高 17,157百万円

船用  
60.9%



陸用  
39.1%



遠隔操作装置  
23.6%



バタフライ弁  
32.1%



自動調節弁  
44.3%

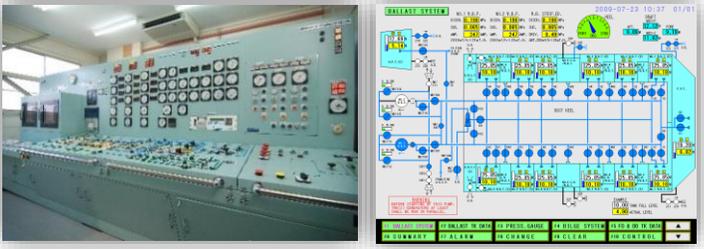


# 3. 製品

- ・自動調節弁
- ・バタフライ弁
- ・遠隔操作装置

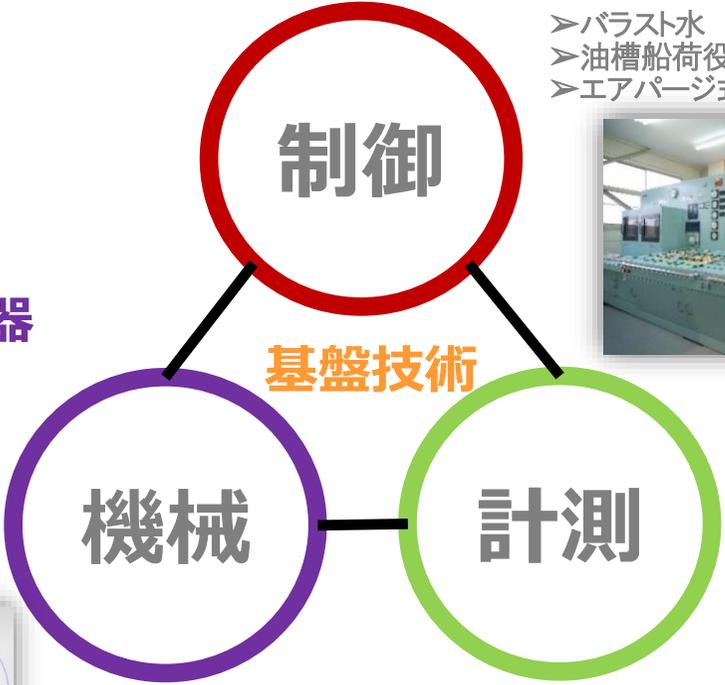
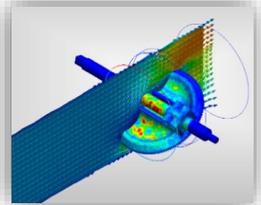
## 船舶荷役時バルブ自動制御装置

- バラスト水 自動制御装置
- 油槽船荷役時バルブ自動制御装置
- エアパージ式液面計



## 船舶機関バルブほか周辺機器

- 生体運搬船ミスト噴霧システム
- 燃料粘度検出・調節装置
- 浸水時警報・排水装置
- 蒸気温度制御装置
- LNGバタフライ弁



## 発電プラント向けバルブほか機器

- サーボ制御高応答型ガス燃料流量・圧力調節バルブ
- 脱気器用安全弁
- 燃料ガス遮断弁
- 窒圧タンク安全弁
- WAX型温度調節弁



## 4. 品質保証

- ・顧客満足度を得るため、品質管理の仕組みや体制作りを行い、顧客に安心と信頼を提供する
- ・顧客ニーズ・期待・要求に製品が適合しているか各部門のプロセス・システムを管理し、品質を保証している

**S**afety 安全な環境      **C**ost 適切な**価格**  
**Q**uality 欠陥のない**品質**      **D**elivery **納期**どおりの供給

### 認 証

認証機関(LRQA)による**ISO9001** 認証

認証機関(LR)による**CE/UKCAマーキング** 認証

高圧ガス大臣認定試験者の認定

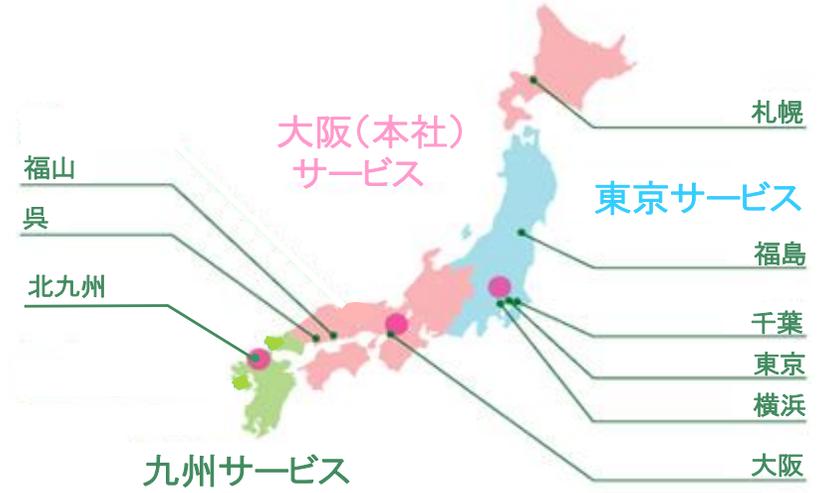
韓国ガス安全公社(KGS)より安全弁の製造の登録証明書取得

韓国KOSHAによる安全弁の**KCsマーク** 認証

米国機械学会(ASME)による**安全弁V、UVスタンプ** 認証

# 5. サービス網

## 国内サービス網



## 海外サービス網



- ・製品を熟知したサービススタッフや代理店で国内外の中北ネットワークを構築
- ・納入実績のデータベース化で長く安心して製品をご使用いただける体制を確立



---

## Ⅱ. 2022年5月期 実績

# 1. 概要

単位：百万円、%、円

	21/5	22/5	前年同期比		22/5 期初計画	期初計画比	
			増減	同率		増減	同率
売上高	17,558	17,157	▲ 400	▲ 2.3	16,500	657	4.0
営業利益	788	537	▲ 250	▲ 31.8	540	▲ 2	▲ 0.4
経常利益	982	808	▲ 173	▲ 17.7	800	8	1.1
当期純利益	673	556	▲ 117	▲ 17.4	560	▲ 3	▲ 0.6
1株当たり当期純利益	188.21	155.84			156.81		
1株当たり配当金	100.00	85.00			100.00		
総資産	27,210	27,846					
純資産	22,102	22,455					

■ 上期は苦戦したが、主にメンテナンス関連の売上増加に注力し、売上は期初計画を上回った。  
利益は、ほぼ期初計画と同じ結果となった。

## 2. 生産・受注・受注残の推移

生産高 単位：百万円、%

	21/5	22/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	7,929	7,627	▲ 301	▲ 3.8
バタフライ弁	4,940	5,247	307	6.2
遠隔操作装置	4,529	4,026	▲ 503	▲ 11.1
生産高合計	17,399	16,901	▲ 497	▲ 2.9

受注高

	21/5	22/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	8,158	7,555	▲ 602	▲ 7.4
バタフライ弁	4,448	4,787	338	7.6
遠隔操作装置	4,002	3,859	▲ 143	▲ 3.6
受注高合計	16,609	16,202	▲ 406	▲ 2.4

受注残

	21/5	22/5	前年同期比	
			増減	同率
自動調節弁	3,940	3,890	▲ 49	▲ 1.3
バタフライ弁	3,649	2,929	▲ 720	▲ 19.7
遠隔操作装置	2,465	2,280	▲ 185	▲ 7.5
受注残合計	10,055	9,100	▲ 954	▲ 9.5

### ■生産高(前年同期比2.9%の減)

生産高は、バタフライ弁が前年同期比6.2%の増加となったが、自動調節弁は同3.8%、遠隔操作装置も同11.1%の減少となり、全体では同2.9%の減少となった。

### ■受注高(同2.4%の減)

新造船市況に明るい兆しが見えつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、依然として厳しい状況にあり、バタフライ弁は前年同期比7.6%増加したものの、自動調節弁は同7.4%、遠隔操作装置も同3.6%の減少となり、全体では同2.4%の減少となった。

### ■受注残(同9.5%の減)

受注残高は前年同期比9.5%の減少となった。

### 3. 部門別売上高

単位：百万円、%

	21/5	22/5	22/5		
			増減	同率	構成比
自動調節弁	8,001	7,605	▲ 396	▲ 5.0	44.3
バタフライ弁	4,985	5,507	522	10.5	32.1
遠隔操作装置	4,571	4,044	▲ 526	▲ 11.5	23.6
合計	17,558	17,157	▲ 400	▲ 2.3	100.0

単位：百万円、%

	21/5	構成比	22/5			
			増減	同率	構成比	
陸用	5,435	31.0	6,703	1,267	23.3	39.1
船用	12,122	69.0	10,454	▲ 1,668	▲ 13.8	60.9
合計	17,558	100.0	17,157	▲ 400	▲ 2.3	100.0

■売上高は、バタフライ弁が前年同期比10.5%増加したものの、自動調節弁は同5.0%、遠隔操作装置も同11.5%減少し、全体では同2.3%減少となった。

■陸用は前年同期に比べ、1,267百万円増加(前年同期比23.3%増)したが、船用は1,668百万円減少(同13.8%減)し、全体では400百万円減少(同2.3%減)となった。

## 4. 地域別売上高

単位：百万円、%

	21/5	22/5	22/5		
			増減	同率	構成比
国内	14,971	15,066	95	0.6	87.8
韓国	544	468	▲ 75	▲ 13.9	2.7
中国	1,685	1,250	▲ 435	▲ 25.8	7.3
その他	357	372	14	4.2	2.2
合計	17,558	17,157	▲ 400	▲ 2.3	100.0
輸出比率	14.7	12.2	▲ 2.5		

- 中国向けは、船用が前年を下回り、前年同期比25.8%減少となった。
- 国内向け、その他は、前年並み、韓国向けは、前年同期比13.9%の減少となった。
- 輸出比率は12.2%で2.5ポイントの減少。

## 5. 損益計算書

単位：百万円、%

	21/5		22/5			
		構成比		増減	同率	構成比
売上高	17,558	100.0	17,157	▲ 400	▲ 2.3	100.0
売上原価	14,773	84.1	14,568	▲ 205	▲ 1.4	84.9
売上総利益	2,784	15.9	2,589	▲ 195	▲ 7.0	15.1
販売費・一般管理費	1,996	11.4	2,051	54	2.8	12.0
営業利益	788	4.5	537	▲ 250	▲ 31.8	3.1
営業外損益	194	1.1	271	76	39.5	1.6
経常利益	982	5.6	808	▲ 173	▲ 17.7	4.7
特別損益	▲ 3	0.0	-	3	-	-
税引前当期純利益	979	5.6	808	▲ 170	▲ 17.4	4.7
法人税等	305	1.7	252	▲ 53	▲ 17.4	1.5
当期純利益	673	3.8	556	▲ 117	▲ 17.4	3.2

- 売上高は、前年同期比2.3%の減少。
- 利益面に関しては、船用関連の落ち込みもあり、営業利益は前年同期比31.8%、経常利益は同17.7%、当期純利益は同17.4%の減少となった。

## 6. 貸借対照表

単位：百万円

	21/5	22/5	増減	主要増減要因
流動資産合計	21,269	19,892	▲ 1,376	
現金・預金	6,109	6,556	447	
売上債権	6,895	7,505	609	下期売上増加
棚卸資産	3,661	3,445	▲ 215	売上減少
その他	4,602	2,385	▲ 2,216	短期運用 ▲ 2,201
固定資産合計	5,941	7,953	2,011	
有形固定資産	3,277	3,652	374	減価償却 236 投資 605
無形固定資産	55	48	▲ 6	
投資その他の資産	2,609	4,252	1,643	長期運用 1,725
資産合計	27,210	27,846	635	
流動負債合計	4,433	5,155	722	
仕入債務	2,751	2,951	199	
1年内返済長期借入金	—	400	400	長期借入→1年以内返済長期借入金 400
その他	1,681	1,804	123	
固定負債合計	674	234	▲ 440	長期借入→1年以内返済長期借入金 ▲ 400
負債合計	5,108	5,390	282	
純資産合計	22,102	22,455	352	
負債・純資産合計	27,210	27,846	635	

---

## Ⅲ. 2023年5月期見通し

# 1. 概要

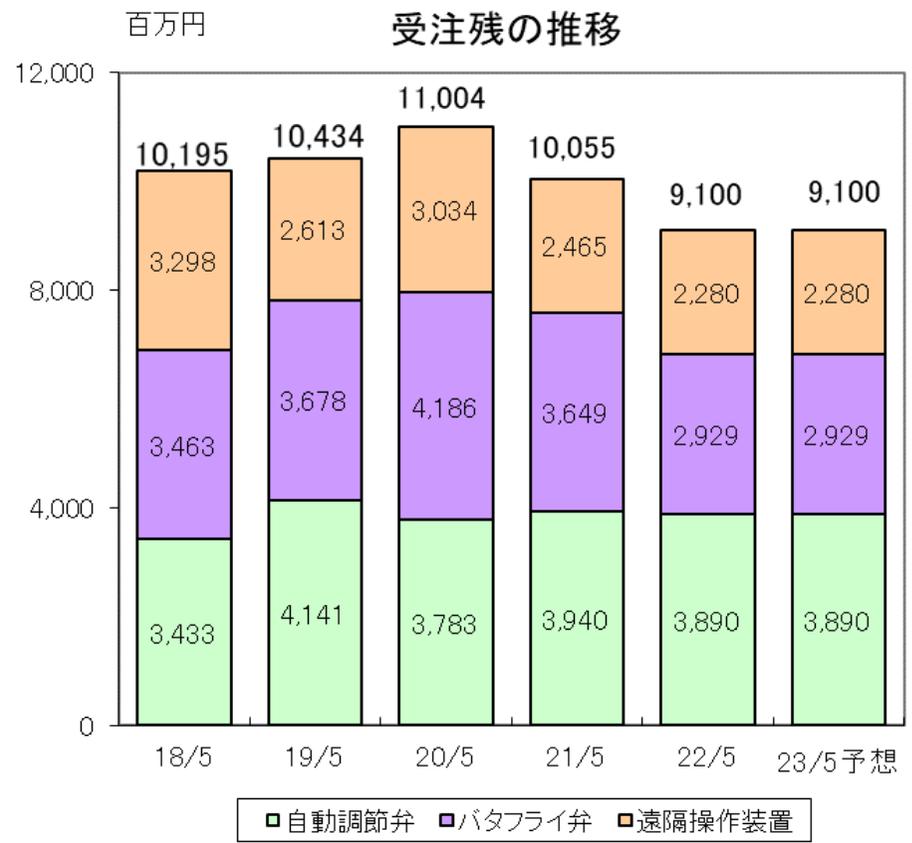
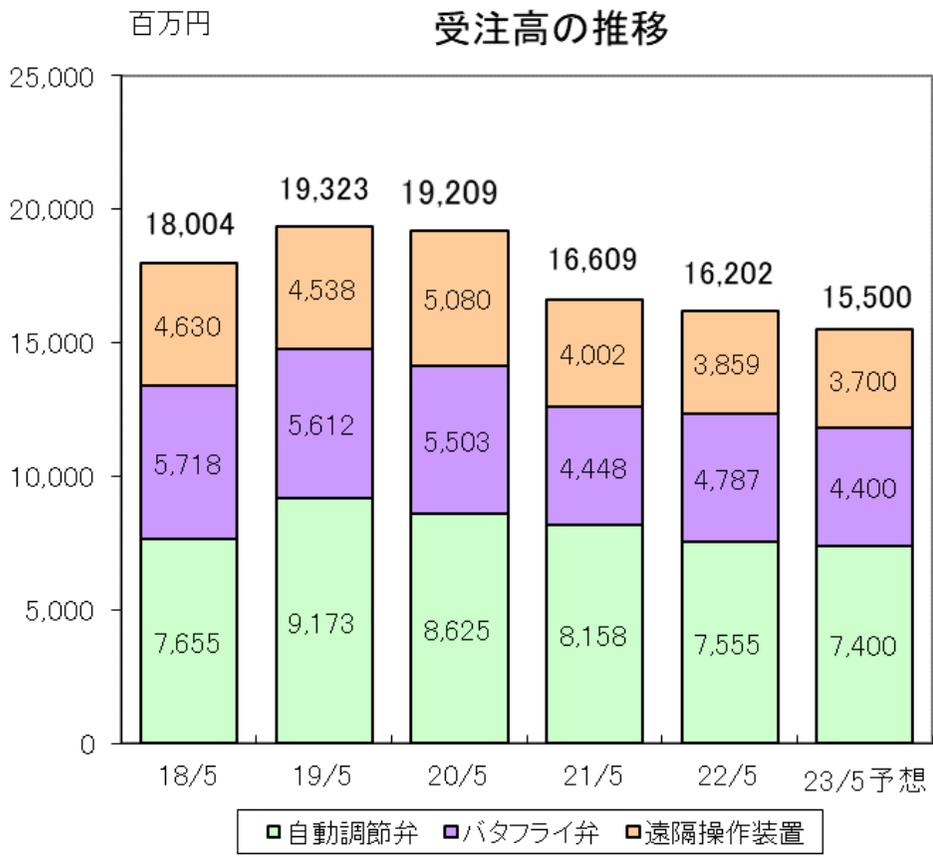
見込み

単位：百万円、%、円

	22/5	23/5	前年同期比	
			増減	同率
			売上高	17,157
営業利益	537	330	▲ 207	▲ 38.6
経常利益	808	580	▲ 228	▲ 28.3
当期純利益	556	400	▲ 156	▲ 28.1
1株当たり当期純利益	155.84	112.01		
1株当たり配当金	85.00	70.00		

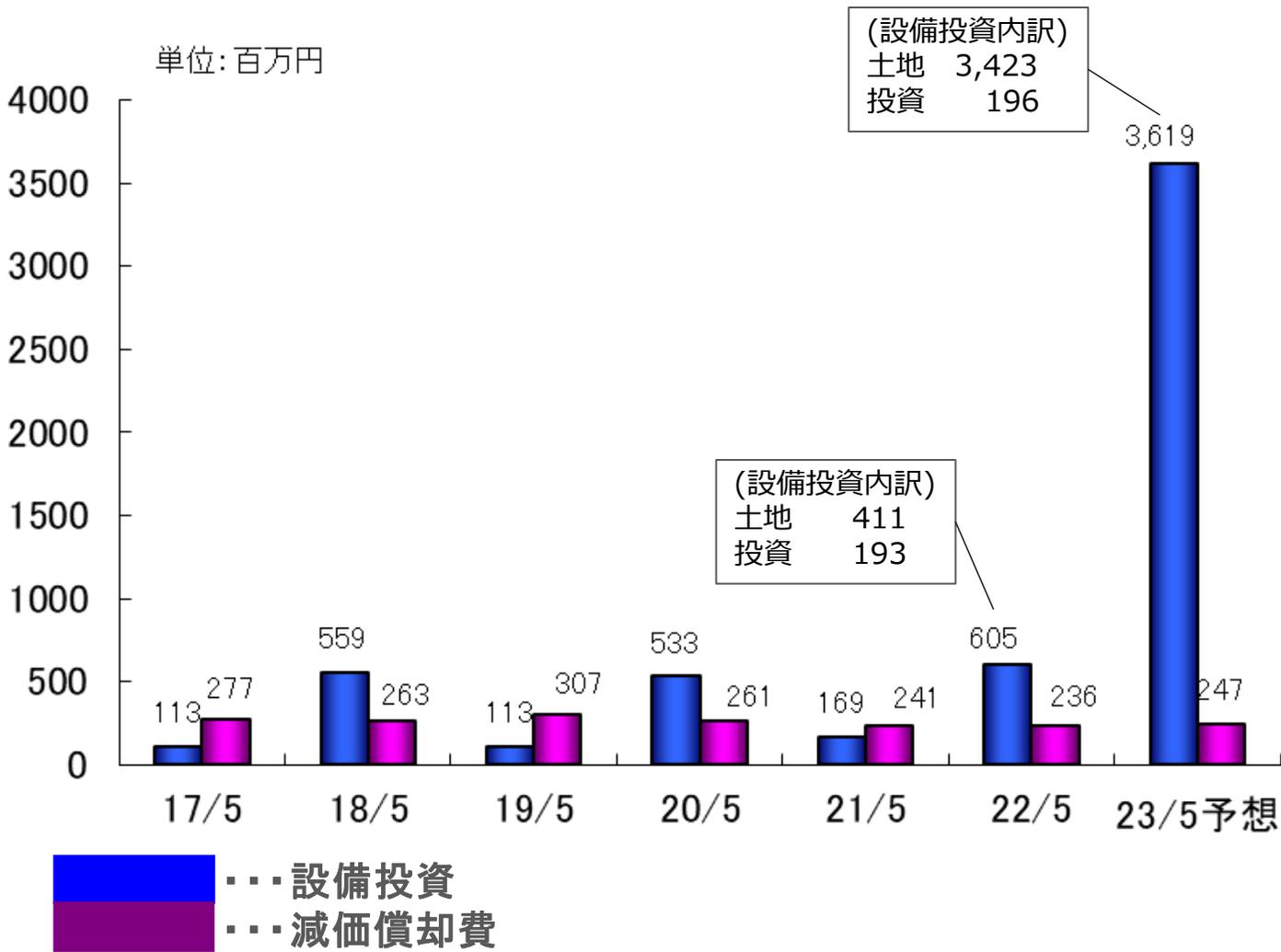
- 売上高は155億円(前年同期比9.7%減)の目標。
- 利益についても、原材料価格の高騰もあり、厳しい状況。

# 2. 受注・受注残の見通し



■ 新造船市況に明るい兆しが見えつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、受注環境は厳しい状況にある。メンテナンス関連の受注獲得にも注力し、受注高155億を目指す。

# 3. 設備投資と減価償却費の見通し



---

## IV. 今後の展望

# 1. トピックス (1)「液化水素用大口径バタフライバルブの技術開発」進捗報告

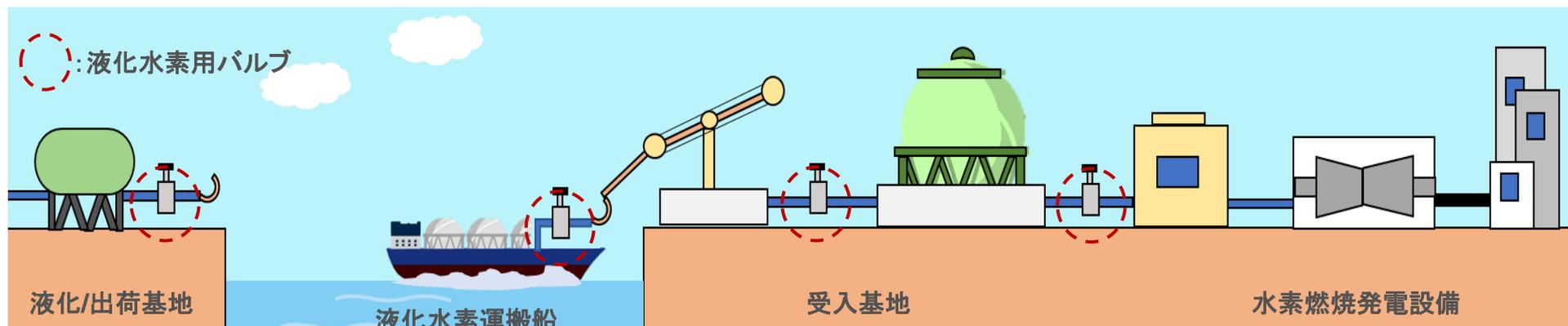
NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)の助成事業により、**大規模水素サプライチェーンの構築に要する、大容量の液体水素が制御可能な大口径のバタフライバルブを開発中。**

進捗: 実機モデルの供試弁で $-253^{\circ}\text{C}$ の液化水素による実液試験を実施。試験データと解析値による比較検証を実施し、解析モデルを構築中。



JAXA能代ロケット実験場での試験風景

液化水素キャリアにおける水素サプライチェーンのイメージ

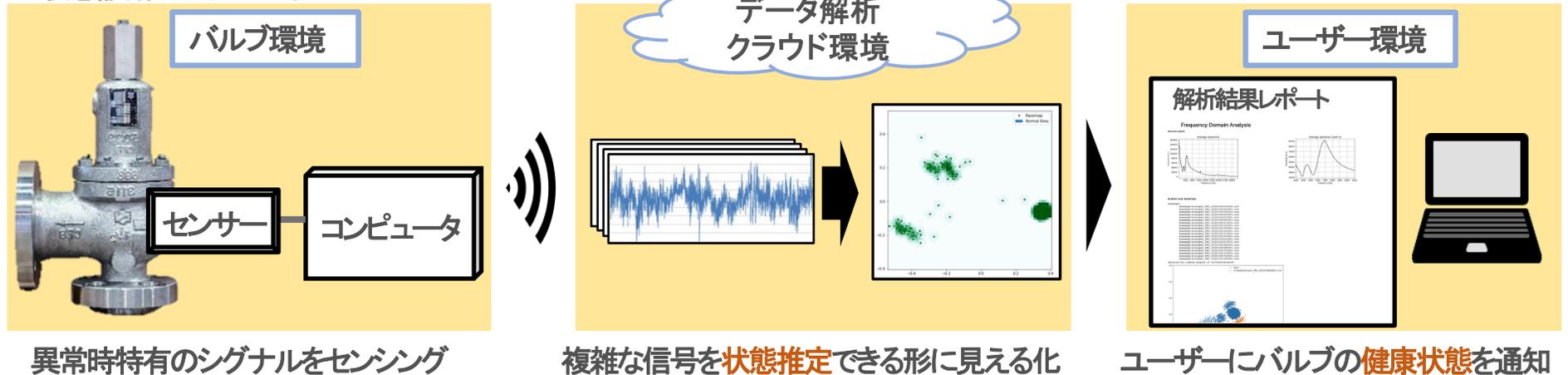


## (2)バルブ予知保全に向けた「状態診断システム」の開発

バルブに異常が生じると、流体の漏れ等が発生し、プラントの運用に支障をきたす恐れ。

センサーから取得した様々なシグナルを検知し、**バルブの状態を診断**。異常の早期発見、ダウンタイム短縮に貢献できるシステムを開発中。

### 状態診断システムのイメージ



センシングで得た大量のデータをAI等を用いて高度に解析することで、新たな価値創出を目指す。

### (3)生産性向上を目的とした新工法及び運用案の検討

#### 【従前工法】

- ・汎用性が高いが、一品一葉の加工で、段取り工数が必要。
- ・旋盤など工具保有本数が少ない設備では、段取り工数だけでなく、加工中の確認工数も嵩む。

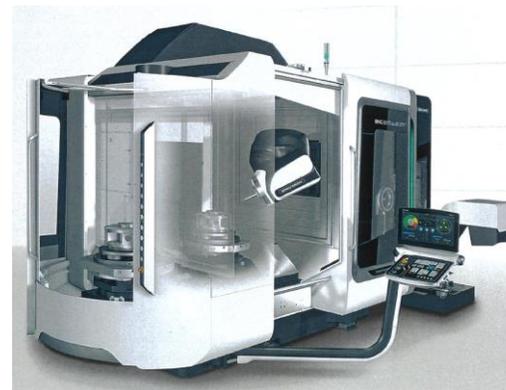
⇒大幅な生産性向上には限界がある。



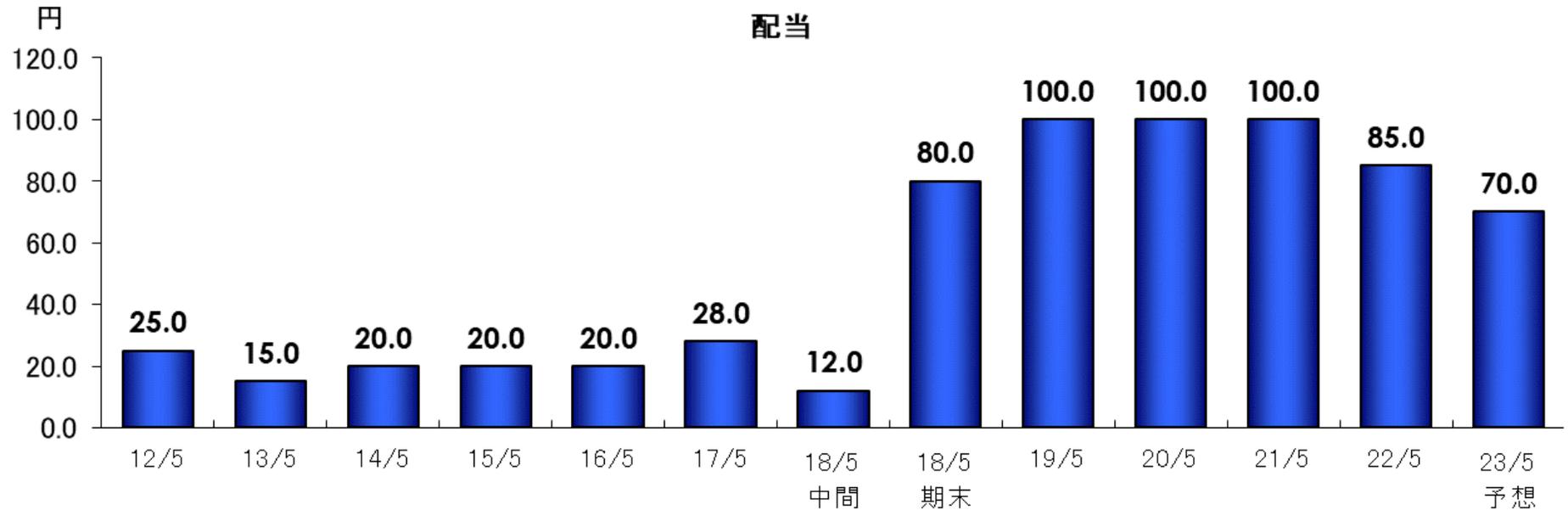
#### 【新工法】

- ・複合加工機を用いた多面加工を行い、工程集約による工数削減を図る。
- ・パレットチェンジャを用いた外段取り化により稼働率が向上。
- ・工具保有本数を増すことにより、加工中の確認工数の削減。

従前工法: **7** 工程 ⇒ 新工法: **2** 工程



## 2. 配当実績・予想



※ 当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。  
18/5期末以後の1株当たり配当金につきましては、当該株式併合後の金額を記載しております。

### 3. 今後の取組み～

---

1. DX推進による新製品・新サービス・業務改革の実現

2. 進取発展の超スピードアップ



---

## V. コーポレート・データ

※1

単位：百万円、%、円

	18/5	19/5	20/5	21/5	22/5	23/5予想
売上高	21,788	19,084	18,639	17,558	17,157	15,500
営業利益	1,683	1,148	1,012	788	537	330
営業利益率	7.7	6.0	5.4	4.5	3.1	2.1
経常利益	1,853	1,325	1,178	982	808	580
経常利益率	8.5	6.9	6.3	5.6	4.7	3.7
当期純利益	1,265	907	741	673	556	400
当期純利益率	5.8	4.8	4.0	3.8	3.2	2.6
総資産	27,352	26,542	27,745	27,210	27,846	
株主資本	20,710	21,022	21,401	21,573	21,773	
株主資本比率	75.7	79.2	77.1	79.3	78.2	
株主資本利益率	6.1	4.3	3.5	3.1	2.6	
1株当たり当期純利益	344.02	249.87	204.49	188.21	155.84	112.01
1株当たり配当金	※2 —	100.00	100.00	100.00	85.00	70.00

※1 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）を19/5期の期首から適用しており、18/5期に係る経営指標等については、当該会計基準を遡って適用した後の指標等となっております。

※2 当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。18/5期における年間の1株当たり配当金は「-」として記載しております。18/5期の1株当たり中間配当金は12.00円、当該株式併合の影響を受け、18/5期の1株当たり期末配当金は、80.00円となります。なお、株式併合後の基準で換算した場合、1株当たり中間配当金は60.00円となるため、18/5期における年間の1株当たり配当金は140.00円となります。

単位：百万円

陸船別売上	18/5	19/5	20/5	21/5	22/5	23/5予想
陸用売上	5,536	5,662	5,977	5,435	6,703	6,100
船用売上	16,252	13,422	12,662	12,122	10,454	9,400
合計	21,788	19,084	18,639	17,558	17,157	15,500

品種別売上	18/5	19/5	20/5	21/5	22/5	23/5予想
自動調節弁	8,880	8,464	8,983	8,001	7,605	7,400
バタフライ弁	6,985	5,397	4,996	4,985	5,507	4,400
遠隔操作装置	5,922	5,222	4,659	4,571	4,044	3,700
合計	21,788	19,084	18,639	17,558	17,157	15,500

生産	18/5	19/5	20/5	21/5	22/5	23/5予想
自動調節弁	8,762	8,341	8,792	7,929	7,627	7,400
バタフライ弁	6,893	5,318	4,890	4,940	5,247	4,400
遠隔操作装置	5,844	5,146	4,561	4,529	4,026	3,700
合計	21,500	18,806	18,244	17,399	16,901	15,500

受注	18/5	19/5	20/5	21/5	22/5	23/5予想
自動調節弁	7,655	9,173	8,625	8,158	7,555	7,400
バタフライ弁	5,718	5,612	5,503	4,448	4,787	4,400
遠隔操作装置	4,630	4,538	5,080	4,002	3,859	3,700
合計	18,004	19,323	19,209	16,609	16,202	15,500

受注残	18/5	19/5	20/5	21/5	22/5	23/5予想
自動調節弁	3,433	4,141	3,783	3,940	3,890	3,890
バタフライ弁	3,463	3,678	4,186	3,649	2,929	2,929
遠隔操作装置	3,298	2,613	3,034	2,465	2,280	2,280
合計	10,195	10,434	11,004	10,055	9,100	9,100

---

・本資料は、ご参考のために株式会社中北製作所が独自に作成したものです。本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、株式会社中北製作所はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社中北製作所に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。